１　いじめ問題解決に向けた私たちの取組名　　藤岡市立美九里西小学校

「みんなの心をつなげよう！」

２　「いじめ撲滅宣言」とのかかわり

美九里西小では、６月１０日（月）～２１日（金）に人権旬間を設定して、全校で「いじめ」について考えました。オープニング集会で校長先生の講話を受け、今年度もスローガン「みんなの心をつなげよう！」のもと「みんなが仲良くなるために」をテーマに、学級と児童会・代表委員会で話し合いを持ち、今年度全校で取り組んでいくことが決まりました。

「みんなの心をつなげよう！」
〇自分から声をかけて、いろいろな学年の子と遊ぼう！　〇人権ポスターを作ろう！

〇今年度も児童会主体の活動として、児童集会の中で「どの学年も楽しめて、声を掛け合える」ように、いろいろな遊びを考え、行いました。
〇普段困っていることを代表委員会で定期的に出し合い、それをもとにみんなが気持ちよく学校生活が送れるように、「人権ポスター」を作成して全校に呼びかけをしました。
〇その他にも具体的な取組として、あいさつ運動、縦割り活動、全校仲良しプールを行いました。
〇１１月～１２月の人権月間では「思いやりの木（実らせよう思いやりの実）運動」、「児童会の劇によるいじめ撲滅の啓発」などを行ったり、４月から異学年交流による関わりの機会を増やしたりしました。
〇上記のような様々な活動を通して思いやりの心を育て、いじめのない学校づくりに一人一人が取り組み、楽しい学校生活を送れるようにしています。

全校仲良しプール

児童集会でのゲーム活動

人権ポスター

３　東中校区共通の取組「スマイルハイタッチあいさつ運動」「ＨＡＰＰＹはぁとふるツリー運動」「藤岡市ネットいじめ防止行動目標アクション３＋」

〇　スマイルハイタッチあいさつ運動

今年度も、積極的にあいさつできる子を育てようと、６月・１２月・２月の年３回、一週間ずつの「地域でふれあうあいさつ運動」を実施しました。「あいさつ運動」では、保護者や地域の人々に元気に笑顔であいさつすることを目標とし、東中の先生や先輩、区長さん、民生委員さん、更生保護女性会の皆さんと一緒にあいさつ運動に取り組み、進んであいさつができるように呼びかけてきました。

また、東中校区スローガンの『かわそう、あいさつ』を実践すべく、東中のガッチュウレンジャーも一緒に参加してくれました。６年前からは、校長先生が中心となって毎朝スマイルハイタッチを進めていて、子どもたちの元気のよい「おはようございます！」の声が響いています。

本校では「思いやりの木（実らせよう思いやりの実）運動」として取り組んでいます。友達にしてもらったうれしいことや、友達がした良いことを紙に書き、「思いやりの木」に貼りました。以前から取り組んでいるため、子どもたちは積極的にたくさんいいことを見つけ、思いやりのある行動を書き込むことができます。また、給食の時間に放送委員が書いてある内容を放送し、全校で思いやりの気持ちを共有しました。このことが「みんなの心をつなげる」上でとても有効であり、意欲を一層高めることができ、本年度のテーマに沿って、いろいろな児童のよいところに気付くことができました。

さらに、普段から多くの学年の帰りの会で「友達のいいところ探し」を発表しており、人権月間だけで終わることなく、日常的に継続して取り組んでいます。

○　藤岡市ネットいじめ防止行動アクション３

「アクション１　相手が喜ぶ言葉を使おう　～ふわふわ言葉を増やそう～」

学活の時間に、各学級で相手の気持ちがあたたかくなる「ふわふわ言葉」について話し合いを行いました。学習を通じて児童は、「相手が喜ぶ言葉＝自分が言われてうれしい言葉」であることに気付きました。学年に応じたふわふわ言葉を日常的に使い、嬉しかった時には、帰りの会で発表している学年もあります。

「アクション２　送信する前に確認しよう　～話す前に相手の気持ちを考えよう～」

毎月行われる代表委員会では、毎月の生活目標を決めることの他に、日頃学校生活で困っていることを話し、改善する方法を考えています。今年は「人権ポスター」を作成し、「言葉遣いが悪い人がいる」などの課題の改善を呼びかけてきました。児童集会でも児童会から繰り返し訴えることで、最近では改善がみられるようになりました。

「アクション３　大切なことは相手の目を見て伝えよう　～人権集会を通して～」

児童会が人権集会で行った人権劇の中で「あいさつをする時は、お互いの目をよく見合いながら、相手に伝わりやすいようにはっきりと大きな声で話す」ということを呼びかけました。児童は劇を見ることを通して、あいさつをする時に大切なことを理解することができました。

４　私たちの取組

（１）　縦割り班活動

異学年交流を通して思いやりの気持ちを育てるために、縦割り班活動に取り組んでいます。清掃活動、体育集会（班対抗長なわ大会、結団式）、運動会（入場行進、応援合戦、全員リレー）、児童集会（クイズ、ゲーム、上毛かるた大会）など、いろいろな場面で縦割り班での活動を行っています。清掃の時間には、下級生にやさしく丁寧に教えてあげる上級生の姿や、お互いに助け合っている姿などが見られました。これらの活動を通して、自分たちの学年だけでなく他の学年の児童とも交流が深まり、思いやりにあふれた人間関係が育まれています。

（２）　人権月間（思いやり月間）

１１月１９日（火）～１２月１３日（金）までを「思いやり月間」とし、人権に関わる校長先生の講話を聞いて、「わたしの思いやり宣言」を一人一人が書いて教室に掲示しました。この宣言を人権月間の行動目標として取り組みました。また、児童会による人権劇の発表も行いました。約１カ月間の取組で、自分や周りにいる人をもっと大事にしようとする人権意識を高めました。

① 全校仲良し給食、全校遊び【１２月３日（火）】

全校児童の人間関係を深めることをねらいとして、児童会が企画し、今年度も「全校仲良し給食」と「全校遊び」を行いました。

給食の準備では、上級生が下級生の手伝いに行くなど、思いやりにあふれた交流ができました。グループ編成は縦割り班とし、子どもたちは、体育館フロアーの班ごとに決められたエリアに、遠足でお弁当を食べるようにレジャーシートを敷いて輪になり、児童会役員の合図で、給食を始めました。食事の途中で児童会役員が仲良し給食の感想をインタビューし、「にぎやかで楽しかった！」などの声が聞かれ、和やかに行えました。

給食後は、全校遊び「１２の誕生日」をしました。これは、全校児童で一つの大きな輪をつくり、曲に合わせて自分の誕生日に円の中心に集まり、異学年で手を繋ぎながら回ります。また、「体を使ったジェスチャーゲーム」を行いました。出題されたテーマを、言葉を発せずにジェスチャーだけで相手に伝える遊びです。この遊びは縦割り班で行うため、班のみんなで協力しながら、互いの絆を深め合い、楽しく行うことができるのではないかと思い、設定しました。その結果、全校児童が一つになって楽しく遊ぶことができ、初めて参加した１年生からは、「楽しかった！」「今度はいつやるの？」などと、笑顔いっぱいの感想を聞くことができました。

② 人権集会【１２月１１日（水）】

児童会役員がこの日のために企画・台本準備をしてきた、児童主体の人権集会です。集会では、人権をテーマにした劇「人によって態度を変えてはいけない」を行いました。劇の中では、先生には元気にあいさつするのに、友達にはあいさつしない子が出てきて、最後にはその子が、人によって態度を変えることは「差別」につながるから、絶対にやってはいけないということに気づいて終わりました。劇を通して、全校児童で課題意識を持つことで、よりよい人間関係を構築しようとする意識を高め、「もっと仲のいい西小を築いていきたいな」と感じてくれたようです。

全校仲良し給食

全校遊び「12の誕生日」

人権をテーマにした劇

５　取組のまとめ

(1)　取組の成果

○縦割り班での活動の充実により、学年に関係なく休み時間に遊んだり、声を掛け合ったりすることがごく自然にできるようになりました。高学年の児童がリーダーシップを発揮して、低学年の児童に自分から手助けしたり、声掛けをしたりするなど思いやりの心も育ちました。

○人権旬間、人権月間での取組を通して、友達のよさに気づき、認め合える人間関係を築くことができました。また、学校や友達が大好きな児童が増えました。

○児童会役員が児童集会等を企画・運営することで、「自分たちが学校のために頑張っている」や「自分たちの企画、運営により、皆が楽しんでくれている」という自己有用感を育むことができました。

(2)　今後の課題

○本校の児童一人一人が、自信を持っていつも笑顔で元気に過ごせるよう、「失敗しても大丈夫」と思えるような温かな人間関係づくりを、児童会を中心により一層充実させていきたいと考えています。また、全校児童の声に耳を傾けながら、今後も児童主体の活動を企画運営していきたいと思います。

いじめ問題解決に向けた年間の取組

藤岡市立美九里西小学校

月	学校の取組	中学校区での取組
４月	・生活アンケート（いじめ・悩み事実態調査）	
５月	・生活アンケート（いじめ・悩み事実態調査）	
６月	・登校班を中心としたスマイルハイタッチあいさつ運動 ・人権標語作成 ・生活アンケート（いじめ・悩み事実態調査） ・Ｃ＆Ｓ質問紙調査 ・ＳＯＳの出し方の話（朝礼）	・スマイルハイタッチあいさつ運動 ・いじめ問題解決に向けた教育懇談会
７月	・生活アンケート（いじめ・悩み事実態調査）	
８月	・始業式にてお互いのよさを認め合うことの大切さについての話	
９月	・藤岡多野いじめ防止フォーラムへの参加（藤岡中央高校） ・生活アンケート（いじめ・悩み事実態調査） ・ＳＯＳの出し方の話（朝礼）	
１０月	・生活アンケート（いじめ・悩み事実態調査）	
１１月	・ＨＡＰＰＹはぁとふるツリー運動 ・各教室に思いやり宣言の掲示 ・思いやりに関する道徳の実施 ・人権ビデオの視聴 ・児童集会にていじめ防止フォーラムの内容の伝達 ・生活アンケート（いじめ・悩み事実態調査）	
１２月	・ＨＡＰＰＹはぁとふるツリー運動 ・登校班を中心としたスマイルハイタッチあいさつ運動 ・児童会を中心とした全校仲良し給食、仲良し遊びの実施 ・児童会中心の人権集会の開催 ・生活アンケート（いじめ・悩み事実態調査） ・ＳＯＳの出し方の話（終業式）	・スマイルハイタッチあいさつ運動
１月	・生活アンケート（いじめ・悩み事実態調査） ・Ｃ＆Ｓ質問紙調査	
２月	・登校班を中心としたスマイルハイタッチあいさつ運動 ・いじめ問題解決に向けた子ども会議への参加 ・児童集会にて子ども会議の内容の伝達 ・生活アンケート（いじめ・悩み事実態調査）	
３月	・生活アンケート（いじめ・悩み事実態調査）	

（学校名　藤岡市立平井小学校）

１　いじめ問題解決に向けた私たちの取組名

つながれ！広がれ！心の輪　2019 平井小「いじめゼロ」プロジェクト

２　「いじめ撲滅宣言」とのかかわり

平井小学校では自分の考え(思い)を相手に伝えられる子どもの育成を図るために、特別活動の充実を重点的な取組の一つにしています。児童会本部や高学年を中心に、全校児童が主体となり、生活目標と関連付けながら学校行事や縦割り集会・児童集会を行うことで生活改善を目指しています。また、縦割り集会などの学年を越えた交流に加えて、西連携型小中一貫校の４校で行われる西中サミットなどの学校を越えた交流も充実させ、９年間のつながりを大切にして、思いやりの心を育てる活動を行ってきました。

３　共通の取組「スマイルハイタッチあいさつ運動」「ＨＡＰＰＹはぁとふるツリー運動」

（１）「スマイルハイタッチあいさつ運動」について

「あいさつクラブ」の発足の説明会

「あいさつクラブ」バッジを配布

あいさつ運動の活性化

小中連携スマイルハイタッチあいさつ運動

「さようなら」スマイルハイタッチ運動

「笑顔あふれる友だちづくり」のためにできる事を児童会役員で話し合い、学校全体であいさつを盛り上げようと、年度初めに「あいさつクラブ」を発足させました。また、従前の通学班によるあいさつ運動を改善し、「さようなら」スマイルハイタッチあいさつ運動とすることで、集団下校時に毎回スマイルハイタッチであいさつができるようにしました。回数が増えたことで徐々にスマイルハイタッチであいさつが日常化し、「笑顔で・目を見て・自分から」というスローガンのもと、元気な声がより一層響き渡る学校になりました。

また、西中学校の生徒も参加する朝のあいさつ運動の日と重ねて、あいさつクラブの児童も自由にあいさつ運動に参加できるので、低学年の児童も上級生をお手本にして元気なあいさつをしようとやる気をもって取り組むことができました。

（２）「ＨＡＰＰＹはぁとふるツリー運動」について

今年度は、後期人権月間や１２月の生活目標「周りのことを考えて、よいことを進んでしよう」と、西中サミットで決定した「友達のよいところ探しの充実」という方針を受けて、児童会役員が「笑顔の花をさかせようプロジェクト」を企画・実践しました。友達の素敵な言動や学級内での素晴らしい行いを、花弁に見立てた黄色い紙に書き、職員室前に貼っていきました。「〇〇さんが毎日元気にあいさつをしてく

笑の花を咲かせようプロジェクト

れるので元気になれます。ありがとう。」「掃除の時間、学級全員が黙々ときれいにしていいなと思いました。」「〇〇さんは、係の仕事じゃないのに、たくさんお手伝いをしていて優しいなと思いました。私も真似したいです。」のような気付きがたくさん書かれ、笑顔の花が満開になりました。

（３）「藤岡市ネットいじめ防止行動目標アクション３＋」について

昨年度の「いじめ問題解決に向けた子ども会議」を受けて、連携型小中一貫校としてどんな活動をしていくべきかを、４校の生徒会、児童会が集まり話し合いをする「西中サミット」を開催し、意見を出し合いました。「西中サミット」で出た意見をもとに、「あいさつ運動」の継続、「友達のよいところ探し」の工夫と充実、新たな取組として「意見箱」の設置を共通実施していくことに決まりました。本校では、意見箱を「平井アイディアボックス」と名付け、「よりよい学校になるようなアイディア」を募集することで、児童主体の学校作りを進めていることを全校児童に知ってもらうよい機会となりました。引き続き、４校合同でいじめ防止活動を進めつつ、「アクション３＋」を広めていきます。

（西中サミットの様子）

（意見箱「平井アイディアボックス」→）

４　私たちの取組

（１）みんなで楽しむ・みんなで学ぶ、子ども主体の児童会活動や学校行事

①たてわり集会

縦割り集会の様子

たてわり集会は毎月１回行っている活動です。全校を各団３班、計９班に分け、１年生から６年生まで１班２０名ほどで構成されています。６年生が中心になって低学年から高学年まで全体で楽しめる遊びを考えますが、班全員で知恵を出し合って毎回遊びを工夫しています。この活動の中で、相手の気持ちを考えたり、相手に喜ばれるうれしさを知ったりすることができ、とても大切な経験になります。日頃異学年と遊ぶことが少ないので、みんなたてわり集会を楽しみにしています。これをきっかけに、休み時間も誘い合って遊ぶようになりました。

②全校で盛り上げよう「運動会」「マラソン大会」

学校行事は、全校が一つになれる良い機会です。運動会は３つの団に分かれて競い合います。

マラソン大会の練習も団別で競い合いました。共通のマラソンカードを使用し、児童会が中心になって全校児童の走った周数を集計しました。その数を職員室前に掲示し、団で力を合わせて走る意欲を高めました。マラソン大会当日は校内新記録に迫る走りが見られ、盛り上がりました。

マラソン練習団別記録表（掲示）

③たてわり班で長縄跳び

「寒い季節も元気に外に出て遊ぼう」というスローガンを基に、３学期には行間休みにたてわり班対抗で長縄大会を行っています。高学年の児童は、下級生の意欲を高めるような声かけを工夫したり、どうすればたくさん跳べるのかを考えたり、思いやりをもった行動が大切になってくる取組です。

縦割り長縄跳びの様子

（２）学年・学校を越えてつながろう―交流の試み―

①１年生の給食準備での交流

１年生が入学して最初の１週間、６年生が給食の準備の手伝いをしました。学校生活に慣れない１年生に給食を配り、ランチマットの使い方や食器の並べ方を教えてあげました。JRC 委員会の児童は、牛乳パックの開き方を丁寧に教えてあげました。仲良くなると、名前を聞いたり休み時間に遊ぶ約束をしたり、ほほえましい交流が見られるようになりました。

１年生給食当番を行う６年生

牛乳パックに開き方を支援する JRC 委員

②西中学校・美土里小学校・日野小学校との交流

西中校区の４校では、あいさつ運動や合同授業を中心に交流が深まっています。

母校訪問

西中訪問あいさつ運動

日野小学校との交流授業

日野小とのあいさつ運動

５　取組のまとめ

（１）取組の成果

・ 通学班単位での「さようなら」ハイタッチあいさつ運動により、全ての子どもたちがあいさつ運動に関わることで、スローガンである「笑顔で・目を見て・自分から」を意識しながら、学校全体で元気なスマイルハイタッチあいさつが広がってきました。
・ 学年・学校を越えたつながりを目指す試みが定着し、よりよい人間関係づくりを考えるよい機会となりました。
・ 児童会や高学年を中心に、児童が主体的に新しい取組や活動を考え、自分たちの学校を自分たちでよりよくしていこうと積極的に取り組む姿が見られるようになってきました。

（２）今後の課題

・ まだ、登校途中の指導員さんや保護者の方々に元気なあいさつができていない児童も少なくありません。様々なあいさつ運動等を通して、さらに「笑顔で・目を見て・自分から」のスローガンを意識したあいさつができるようにしていく必要があります。
・ どの場面においても、笑顔いっぱいの学校、思いやりいっぱい学校作りを目指して、児童主体の取組を推進していきたいと思います。

いじめ問題解決に向けた年間の取組

藤岡市立平井小学校

月	学校の取組	中学校区での取組
4月	・なかよしアンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・あいさつクラブの発足 ・アクション3＋を児童に啓発	・WDS小中連携スマイルハイタッチあいさつ運動 ・年度初めによる児童や家庭への生活のきまり（よい子のきまり）の確認
5月	・なかよしアンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・通学班による「さよなら」スマイルハイタッチあいさつ運動 ・あいさつクラブのあいさつ運動への参加	・WDS小中連携スマイルハイタッチあいさつ運動
6月	・前期人権月間にて各学年で人権ビデオ鑑賞 ・「夜空を星でいっぱいにしよう」プロジェクト実施 ・いじめに関する道徳の実施 ・通学班による「さよなら」スマイルハイタッチあいさつ運動 ・なかよしアンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・あいさつクラブのあいさつ運動への参加	・WDS小小、小中連携スマイルハイタッチあいさつ運動 ・いじめ問題解決に向けた教育懇談会（西中）
7月	・なかよしアンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・長期休業に向けて生活の決まりの指導の徹底 ・通学班による「さよなら」スマイルハイタッチあいさつ運動 ・あいさつクラブのあいさつ運動への参加	・WDS小中連携スマイルハイタッチあいさつ運動
8月	・なかよしアンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・三者面談の実施（希望者のみ対象）	・西中サミット開催（「あいさつ運動」の継続、「友達のいいところ探し」の工夫と充実・意見箱の設置を決定）
9月	・藤岡多野いじめ防止フォーラムへの参加（藤岡中央高校） ・なかよしアンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・通学班による「さよなら」スマイルハイタッチあいさつ運動 ・SOSの出し方について、5年生で授業を実施	・WDS小中連携スマイルハイタッチあいさつ運動（中止）
10月	・なかよしアンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・通学班による「さよなら」スマイルハイタッチあいさつ運動 ・あいさつクラブのあいさつ運動への参加 ・意見箱（平井アイディアボックス）の設置	・WDS小中連携スマイルハイタッチあいさつ運動
11月	・後期人権月間にてHAPPYはぁとふるツリー運動「笑顔の花をさかせようプロジェクト」実施 ・人権ビデオの鑑賞 ・いじめについての道徳の授業の実践 ・なかよしアンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・通学班による「さよなら」スマイルハイタッチあいさつ運動 ・あいさつクラブのあいさつ運動への参加 ・学校だよりによる、いじめ防止への協力依頼と啓発	・WDS小小、小中連携スマイルハイタッチあいさつ運動
12月	・なかよしアンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・終業式にて、SNSの利用について児童に啓発・指導 ・通学班による「さよなら」スマイルハイタッチあいさつ運動 ・SNSの使用について4～6年生でアンケートを実施 ・学校だより、生徒指導だよりによるネットルールにかかわる協力依頼と啓発	・WDS小中連携スマイルハイタッチあいさつ運動
1月	・なかよしアンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・通学班による「さよなら」スマイルハイタッチあいさつ運動 ・あいさつクラブのあいさつ運動への参加	・WDS小中連携スマイルハイタッチあいさつ運動
2月	・いじめ問題解決に向けた子ども会議開催 ・全校集会にて子ども会議の内容の伝達 ・なかよしアンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・あいさつクラブのあいさつ運動への参加	・WDS小中連携スマイルハイタッチあいさつ運動
3月	・なかよしアンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・通学班による「さよなら」スマイルハイタッチあいさつ運動 ・あいさつクラブのあいさつ運動への参加 ・SNSのつかい方について講師を招いて授業を実施	・WDS小中連携スマイルハイタッチあいさつ運動

１　いじめ問題解決に向けた私たちの取組名

「みんなでつくろう　えがおいっぱいの日野小」

合言葉は

２「いじめ撲滅宣言」とのかかわり

日野小では「私たちは、いじめをしない、させない、許さない」のいじめをしない宣言のもと、『私たちは学年、学校をこえて交流を盛んにし、思いやりの心を育てます。』を重点項目に掲げて取り組んできました。校内では、縦割り班で行う清掃活動や花の学び舎づくり、人権週間における各取組、学校行事や全校で行う活動等を行う中で、学年を超えて協力し助け合う意識を高めてきました。これらの活動をとおして学年を超えてお互いを深く理解し合い、教員・児童がだれとでも気軽に声を掛け合って「笑顔あふれるあったかい日野小」にしていくことが「いじめ０」への一番の近道と考えて取り組んでいます。

３　共通の取組

（１）スマイルハイタッチあいさつ運動

日野小学校でのスマイルハイタッチ運動は、毎週月曜日の集団下校で、児童職員がハイタッチをして下校しています。学年ごとに交代で行い、みんな元気のいいあいさつをし、笑顔で下校しています。スマイルハイタッチあいさつ運動が児童保護者の中にも浸透し、修学旅行や臨海学校に出発するときにも、見送りの人たちとのスマイルハイタッチが自然と行われます。

（２）ＨＡＰＰＹはぁとふるツリー運動

日野小学校では、人権週間にあわせて、「ＨＡＰＰＹはあとふるツリー運動」を実施しました。友だちや家族、先生などお世話になっている人との関わりを思い出しながら、日頃の感謝の気持ちを込めて、ありがとうのメッセージをカードに書きました。１学期は、友達にしてもらってうれしかったことや友だちにしてあげたことを朝顔の花カードに書き、朝顔の花を咲かせました。実施期間中には

あさがおの花でいっぱいになった掲示物をたくさんの児童が興味深そうに見ていて、友だちのいいところを探すきっかけになりました。

２学期は玄関にツリーを設置し、困っている人を助けたり助けられたりしたら星の用紙に書いてツリーに貼っていきました。いろいろな状況の人がいるということを考えるきっかけとなりました。自分のことが書いてある紙を見つけたときの児童は、とてもうれしそうでした。

（３）藤岡市ネットいじめ防止行動計画アクション３＋

夏休みに行われた西中校区サミットでは、いじめをなくすために自分たちができることを考え、実行できるような話合いを行いました。そこでの話合いをもとに児童会を中心に意見箱をつくり、「学校がもっとよくなるためのアイディア」を募りました。また、行事などに合わせて決めた、今月の「いじめ防止行動目標アクション３＋」を掲示し、担任の先生からも、人権週間や道徳や学活の授業など日々の生活の中でアクション３＋について触れてもらうようにしました。

４　私たちの取組

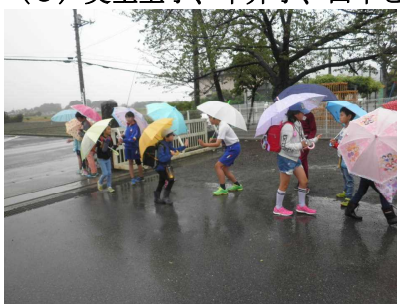
（１）縦割り班活動の取組

本校の縦割り班は２つに分かれています。毎日の清掃活動をはじめ、業前活動、「花の学び舎」活動、ヤマメの飼育等、一年をとおして縦割り班活動がたくさんあります。特に運動会は、その２つの班がそれぞれ鮎川団、金山団となって優勝を目指します。高学年がリーダーシップをとりながら、休み時間や放課後は団対抗競技や応援合戦等の練習に取り組むため、大変盛り上がります。その他、水泳大会、校内マラソン大会や長縄大会も団別対抗で行うため、絆が深まります。花の水やりやヤマメの餌やりも班で分担して責任をもって行い、教え合いや助け合いが自然にできるよさがあります。

（２）人権週間における取組

２学期の人権週間には、人権擁護委員の方々をお招きして人権学習が行われました。「人にはみんな、生まれたときに神様から贈られたものがある」という紙芝居を見た後、グループになって友だちの素晴らしいところを考えて伝え合いました。直接自分のよいところを言われた児童は少し気恥ずかしい表情を浮かべながらも、みなうれしそうな様子でした。

（３）美土里小、平井小、西中との連携



美土里小でのあいさつ運動

平井小児童との交流

西中校区サミット

５　取組のまとめ

（１）取組の成果

「スマイルハイタッチ運動」では、すべての児童が運動を進める側にも立ち、どのようにあいさつをするのが気持ちのよいあいさつなのかを考える機会をもてました。あいさつ運動のとき以外でも、修学旅行で出発するときや臨海学校のバスに乗り込むときには見送りの人たちと自然とスマイルハイタッチをするなど、スマイルハイタッチ運動が浸透してきています。また、地域の人や来校者にも進んであいさつをしたり、友達や先生の名前を呼んであいさつをするなどのよい変化も見られます。

「ＨＡＰＰＹはあとふるツリー運動」では、クラスの友だちに加え、他学年の児童との関わりにも目を向けることができました。「まだあの子のことを書いていない」と気付き、その子のよいところを見つけようとする児童もおり、進んで取り組む姿が随所で見られました。

「藤岡市ネットいじめ防止行動目標アクション３＋」では、運動会や人権週間などの取り組みと合わせて、今月の重点事項を掲げて取り組みました。それにより、普段の生活とアクション３＋を結びつけて考え、実践していくことができました。

各取組では、一人一人の頑張りや活躍を学校全体で認め合い褒め合うことができました。縦割り班活動をしている時の児童は、思いやりやありがとうの気持ちにあふれ、とても生き生きしていてやる気に満ちていました。

（２）今後の課題

年々児童数が減少し、今年度は全校で１６名でした。「少人数だから仕方ない」という考えから各取組を教員主導で行ってしまい、児童主体の活動になっていない部分もありました。全校を一つの集団として考えた活動の工夫や、児童が主体的に活動できる場の工夫が今後の課題です。それぞれの取組の意義を確認し、実態に応じて変化・修正を加えながら、笑顔いっぱいの日野小にしていくために少人数のよさを生かした指導を行っていきたいと思います。